

## 取得可能な資格

下総高校では農業・工業・商業の3学科があり、各学科とも資格取得を強く推奨しています。

資格を取得すると進学や就職する際に有利に働きます。そのため、生徒達は1つでも多くの資格を取得するために日々努力しております。

ここでは、各学科の取得可能な資格を紹介いたします。

### 【取得可能な資格】

※ 学科名の「◎は最適」「○は可能」「×は不可」を意味しています。

資格の名称	学科名			内容																		
	園芸	自動車	情報																			
日本農業技術検定	◎	○	○	<p>農業を学ぶ学生や農業を仕事にしたい人のための検定。農業について知識・技術の水準を客観的に評価し、教育研修の効果を高めることを目的としている。</p> <p>農業を担う人材の育成・確保に欠かせない検定として関係機関から注目され、入試で優遇する農業大学校や農業系大学が出てきただけでなく、優先採用する農業法人があるなど受検メリットも拡大している。</p> <p style="text-align: right;">(後援 農林水産省・文部科学省)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>等級</th> <th>3級</th> <th>2級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>想定レベル</td> <td>農作業の意味が理解できる入門レベル</td> <td>農作業の栽培管理等が可能な基本レベル</td> </tr> <tr> <td>試験方法</td> <td>学科試験のみ</td> <td>学科試験+実技試験</td> </tr> <tr> <td>回答方法</td> <td>マークシート方式</td> <td>マークシート方式</td> </tr> <tr> <td>時間</td> <td>40分</td> <td>60分</td> </tr> <tr> <td>実技試験</td> <td>なし</td> <td>トラクタ・刈り払い機・防除機などの実地研修試験</td> </tr> </tbody> </table>	等級	3級	2級	想定レベル	農作業の意味が理解できる入門レベル	農作業の栽培管理等が可能な基本レベル	試験方法	学科試験のみ	学科試験+実技試験	回答方法	マークシート方式	マークシート方式	時間	40分	60分	実技試験	なし	トラクタ・刈り払い機・防除機などの実地研修試験
等級	3級	2級																				
想定レベル	農作業の意味が理解できる入門レベル	農作業の栽培管理等が可能な基本レベル																				
試験方法	学科試験のみ	学科試験+実技試験																				
回答方法	マークシート方式	マークシート方式																				
時間	40分	60分																				
実技試験	なし	トラクタ・刈り払い機・防除機などの実地研修試験																				
3級自動車整備士	×	◎	×	<p>自動車整備士になるためには、一定の受験資格を満たした上で、国土交通大臣が行う自動車整備士実能検定「学科試験（1級の場合は筆記及び口述試験）及び実技試験」を受け、合格しなければなりません。</p> <p>【3級の試験区分（3級自動車整備士）】①3級自動車シャシ整備士 ②3級ガソリン・エンジン自動車整備士 ③3級ディーゼル・エンジン自動車整備士</p>																		
全商情報処理検定	○	○	◎	<p>コンピュータのハードウェアやソフトウェアに関する知識、ビジネスにおける実務的表計算ソフトウェアの活用やデータベースソフトウェアの活用、プログラミングに関する技能をはかる検定が情報処理検定です。</p> <p>この検定は独立行政法人情報処理推進機構（IPA）ITパスポート・基本情報技術者試験の登竜門として位置付けられており、高度な資格取得への足がかりとしての地位を固めつつあります。</p>																		
全商簿記実務検定	○	○	◎	<p>簿記とは、日頃、企業（会社）で行われる取引を一定のルールに従って帳簿に記録し、それを一定の報告書（財務諸表）の形にまとめ、利用の金額や所有する財産の状態などの情報を企業の内外に提供するためのものです。簿記で作成した報告書は、税金の金額の計算や、会社の将来性や信用度の測定などに利用されます。いわゆる企業の通知表や成績表にあたる報告書を作成するのが簿記なのです。</p> <p>簿記を学習することによって、企業の経理事務に必要な知識や技術が身につくだけでなく、企業の経営状態などを理解・分析することが可能になり、経営管理能力が身につきます。</p> <p>このように、「簿記会計がわからないと経営はできない」といわれるほど、企業経営において有益な道具として、簿記は広く活用されています。</p>																		
全商ビジネス文書実務検定	○	○	◎	<p>ビジネス活動では、さまざまな情報を文書によって伝達することが多くあります。</p> <p>情報を速く正確に伝えるためには、ビジネス文書に関する基本的な知識と入力に関する基本的な技能を兼ね備えている必要があります。</p> <p>ビジネス文書実務検定試験は、このような知識と技能を身につけ、社会に出て即戦力になれる人材を育成することを目的に、級ごとに出题範囲を定めて実施しています。</p> <p>ビジネス文書部門（筆記・実技）・速度部門（実技）それぞれの問題を段階的にクリアすることで、実社会に役立つ能力を身につけることができます。</p>																		
アーク溶接特別教育	○	◎	○	<p>金属電極と被溶接物の間にアーク（火花）を発生させ、その熱を利用して溶接する方法であるアーク溶接を行う上で必要な資格である。アーク溶接業務（手アーク溶接、半自動アーク溶接、自動溶接）を行う事ができる。</p>																		
ガス溶接技能講習	○	◎	○	<p>可燃性ガス・酸素を使用したガス溶接、切断等のガス溶接の作業を行う上で重要な資格である。可燃性ガスと酸素を使用した金属の溶接、溶断、可燃の作業を行うことができる。</p>																		
高所作業車特別教育	○	◎	○	<p>高所作業車（作業床の高さが10メートル未満）の運転（道路上を走行させる運転を除く）の業務ができる。</p>																		

フォークリフト特別教育	○	◎	○	特別教育最大荷重1t未満のフォークリフトを操作できる。
小型車両系建設機械特別教育	◎	○	○	特別教育機体重量3t未満の油圧ショベル、ブルドーザ、タイヤドーザ、ホイールローダ、タイヤショベルなどでの整地・運搬・積込・掘削作業ができる。
低圧電気取扱業務特別講習会	○	◎	○	低圧電気は、事業場や工場など一般作業者の周辺の電気機器に広く用いられています。低圧電気取扱業務は、労働安全衛生規則により「危険又は有害な業務」に指定されています。事業者は、危険有害業務に労働者を従事させる場合、規定された特別教育を実施しなければなりません（労働安全衛生法第59条など）。
危険物取扱者試験	○	◎	○	一定数量以上の危険物を貯蔵、又は取り扱う化学工場、ガソリンスタンド、石油貯蔵タンク、タンクローリー等の施設には、危険物を取り扱うために必ず危険物取扱者を置かなければなりません。甲種危険物取扱者は全類の危険物、乙種危険物取扱者は指定の類の危険物について、取扱と定期点検、保安の監督ができます。 本校では乙4類の取得を目標としています。
国家技能検定	○	◎	○	機械検査：機械検査作業 本検定は、働く人々の技能を国が一定の基準によって検定し、技術力を公証し、技術者の社会的地位を向上させる事を目的として実施する国家検定試験です。これに合格すると「技能士」の称号が与えられます。 自動車科では、工業基礎や実習で学習した知識・技能をもとに、技術力定着の証しとして受検することができます。